

謹啓 師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年3月11日に発生した東日本大震災、引き続き長野県北部地震に際しましては、全国老人クラブ連合会を通じて、貴会からの被災地に対する救援拠金の一時配分を6月13日に、さらに、二次配分を9月20日に謹んで受領いたしました。

全国の老人クラブ会員の皆様から心温まるご支援、お見舞いをいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。

平成23年11月11日現在の人的被害は避難生活によるストレス、過労が原因による死者3名、住家被害として全壊、半壊、一部損壊704棟の被害を受けました。

今回、被災した栄村を中心としたこの地域は日本有数の豪雪地帯で、これからの冬本番を迎えるにあたり家屋の修繕や除雪対策に苦慮しているとお聞きをしているところでございます。

このような中で、会員が一日も早く笑顔と元気を取り戻せるように、県老連、市町村老連一丸となりまして、全国の仲間の皆さんからいただきました善意を活かしてまいります。

皆様からのご支援に対する御礼が遅くなりましたこと、何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。甚だ略儀ではございますが書中をもってご厚情、ご支援の御礼を申し上げます。

末筆ではございますが、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

平成23年12月2日

各都道府県老人クラブ連合会 会長 様  
各指定都市老人クラブ連合会 会長 様

財団法人 長野県老人クラブ連合会  
会長 宮内文雄

